

事業所名 アシスト・ケア（宝ヶ丘）（第10回）

運営推進会議開催報告書

開催日時 令和3年3月 コロナウイルス感染拡大の為に中止		
参加者		議題
利用者	1名	① 前回の運営推進会議の振り返り ② 事業所の特色 ③ 利用者の構成 ④ 職員資質向上の取組み ⑤ 苦情、事故、ヒヤリハットの事例 ⑥ 事業所で内外での活動 ⑦ ボランティアとの連携 ⑧ 避難訓練 ⑨ 地域から課題や要望 ⑩ その他
利用者家族	0名	
地域住民の代表者	1名	
市職員	1名	
地域包括支援センター職員	1名	
事業所	2名	
会 議 録		
① 第9回（9月実施なし）運営推進会議の振り返り		
<ul style="list-style-type: none"> ・感染予防の為に、利用を控えている方もいて以前は自宅に訪問しての運動指導を実施していたこともありますが、現在希望者はおらず実施しておりません。 ・地域の方が参加出来る「バランスボールでの介護予防教室」を行いました。が、緊急事態宣言の為に日程を削減しての実施となりました。 		
② 事業所の特色		
<p>半日の運動特化型デイサービス。マシン・マッサージ・集団運動・歩行訓練を行う事で、高齢者でも無理のない筋力維持をすることが出来ます。</p> <p>近日、同じようなタイプの事業所が増えていますが、マシン・マッサージ・歩行訓練の3つを備えた事業所は当社のみとなります。又、瀬戸市内で一番の老舗となります。</p> <p>機能訓練を目的としたマシン運動は日常生活動作を模したものです。立ったり座ったり、物を取る時の動作、浴槽を跨ぐための反復動作をすることで日常生活がスムーズに行えることを目的にしています。</p> <p>歩行訓練についてはスタンプラリーで利用者さんの意欲を引き出して、運動の機会を増やす取り組みをしています。目標を達成すると表彰状をお渡しするので自主的に楽しく取り組まれています。</p>		
③ 利用者の構成		
利用者数約90名 男女比3対7 平均介護度1 平均利用者 12名/日		
④ 職員資質向上の取組み		
<ul style="list-style-type: none"> ・介護予防教室（バランスボール）の運動に参加することで、参加者側の気持ちを感じて、指導方法を学ぶ機会とした。 ・外部講師（理学療法士、歯科衛生士、ハンドマッサージ研修講師）を招いての講習も実施予定がコロナで実施出来ず。 		

⑤ 苦情、事故、ヒヤリハットの事例

車両の軽微な物損事故が時々ある。

近日、ヒヤリハット報告書の提示が少ないので、事故になる前の「ヒヤリ」とした内容を提出するように、再度周知した。

⑥ 避難訓練

10月に実施予定

⑦ ボランティアとの連携

なし

⑧ 地域から課題や要望

<利用者さんより>

→とても楽しく運動が行え、スタッフも優しく気持ちよく利用が出来ます。

頭の運動も出来るので認知症予防にとても良いです。

マッサージの時間が長いと嬉しいです→機能訓練指導員 1 名にて行うので限られた時間になります。

コーヒーは出るがおやつが出ると嬉しい→季節行事にはお饅頭等を出しました。

<民生委員さんより>

・今回のコロナウイルス緊急事態宣言の対応策は決めてありますか？

→独自の指針は無いが、市の指導に従って他の事業所の動向を見ながら対応していきます。

・訪問による運動等の支援は検討されていますか？

→8月迄は訪問させて頂きましたが、利用再開のため、現在は訪問していません。

・電話等による支援は検討されていますか？

→訪問による希望は非常に少ないので、現在は行っていませんが、要望があれば実施します。

・施設をより周知してもらうためにどのような取り組みをされていますか？

→一般的なケアマネさんへの案内以外に、市の委託介護予防教室の案内を広報にて周知しています。9月に新聞折り込みのチラシにて周知を行いました。

⑨ その他

・現時点では、コロナウイルス感染拡大予防でお休みされている方は、ほとんどおられません。

・送迎前には職員、利用者さんの検温、手洗い、消毒の徹底、換気等をしっかりと行っています。

・普通にお仕事出来ることのありがたさを、改めて痛感しております。